

会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年度 第1回 本荘まちづくり協議会
開 催 日 時	平成25年8月28日(水) 午後3時～5時15分
開 催 場 所	市庁舎「正庁」(4階)
出 席 者 氏 名	「出席者名簿(網掛け)」のとおり
欠 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
会 議 次 第	
1. 開 会	
2. 委嘱状交付	
3. 市長あいさつ	
4. 会長・副会長選任	
5. 委員自己紹介、出席職員紹介	
6. まちづくり協議会の役割等について	
7. 議 事	
(1)平成25年度由利本荘市主要プロジェクトの概要について	
(2)平成25年度地域づくり推進事業の実施状況について	
(3)協議会活動の進め方について	
(4)その他	
8. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

本荘まちづくり協議会委員名簿

※出席者（24名）：網掛け

役職	氏名
会長	渡辺 義弘
副会長	菊地 長司
委員	荘司 仁
委員	田中 准子
委員	高井 重保
委員	保科 慶一
委員	小松 良太郎
委員	佐々木 保之
委員	川津 利幸
委員	小野 秀一
委員	堀 幸子
委員	中嶋 豪
委員	鈴木 登
委員	工藤 久美子

役職	氏名
委員	吉田 朋子
委員	伊藤 春美
委員	高原 一心
委員	佐々木 律子
委員	佐々木 亮
委員	小石 裕英
委員	佐藤 留美子
委員	今野 直子
委員	村岡 兼幸
委員	嶋崎 真仁
委員	縄野 博美
委員	中村 鎮
委員	竹内 武

平成25年度第1回 本荘まちづくり協議会 行政出席者名簿

◎事務局

職 名	氏 名	摘 要
企画調整部長	伊 藤 篤	
地域おこし課 課 長	袴 田 範 之	
参事兼課長補佐	高 橋 孝 紀	
地域おこし班長	小 松 明 子	
主 査	菅 野 基	

会議の経過

平成25年度 第1回 本荘まちづくり協議会

平成25年8月28日（水）

午後3時00分 開会

午後5時15分 閉会

開会（進行：地域おこし課 高橋参事兼課長補佐）

ご案内の時刻となりましたので、ただ今より、平成25年度第1回本荘まちづくり協議会を開会いたします。

私は、司会を担当いたします由利本荘市企画調整部地域おこし課の高橋でございます。よろしくお願ひいたします。

始めに、この度、協議会委員をお引き受けいただいた皆さまに委嘱状を交付いたしましたことと存じます。

委員の任期は、平成25年8月1日から平成27年7月31日までの、2年間でございます。

市長が皆さまの前に進み、委嘱状をお渡しいたします。

名簿順にお名前をお呼びいたしますので、その場でお受け取りくださるようお願いいたします。

（委嘱状の交付 出席者24名）

なお、伊藤春美様、佐藤留美子様、村岡兼幸様は、本日都合により欠席となっております。

それでは、由利本荘市長 長谷部市長がごあいさつを申し上げます。

由利本荘市長 長谷部 誠（市長あいさつ）

平成25年度第1回目の本荘まちづくり協議会の開催にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。委員の皆さまには、大変お忙しいところご出席を賜りまして誠にありがとうございます。ただいま、委嘱状を交付させていただきましたが、この協議会の委員をお引き受けいただきまして厚く御礼を申し上げます。また、皆さまには常日頃から市政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜りましてこの場をお借りしまして厚く御礼を申し上げたいと存じます。さて、ご案内のとおりこの協議会は市民と行政との協働のまちづくりを推進するために地域の課題解決あるいは活性化を図るため住民の皆さまの主体的、自発的な取り組みによりまして設置されたものでありまして今、8地域でまちづくり協議会が設立されております。この8地域の協議会が相互交流や連携を深めることによりまして、由利本荘市全体の発展につながることであればと大いに期待しているところであります。今年の4月は私にとりまして、2期目の選挙がありましたが31項目の公約を掲げさせていただいております。とくに、産業振興による雇用の確保、あるいは少子高齢化対策、さらには鳥海山を核とした観光振興等とそういった問題に重

点を置きながら、力強く躍進する由利本荘市を築いていきたいと考えているところであり、この本荘地区においても、国療跡地の利活用やさまざまな問題が山積しておりますが、今日お集まりの皆さま方はそれぞれいろんな組織の中で活躍をされてる方々ばかりでございますし、この地域の実情に非常に精通した方々でございますので、皆さまの忌憚のないご意見を頂戴してそのご意見を市政の運営の参考にさせていただいて参りたいと考えております。いづれにいたしましても、1市7町は合併をしました由利本荘市であります。その地域に住む方々の生の声というものをよくお聞きしながら市政に反映させて参りたいと考えております。このまちづくり協議会のスタートにあたりまして、委員の皆さまからは大変お世話になると思っておりますが、どうぞ由利本荘市の発展のためにお力添えを賜りますようよろしくお願いを申し上げます一言あいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

地域おこし課 高橋参事兼課長補佐

次に、次第の3、会長・副会長の選任に入ります。由利本荘市まちづくり協議会条例第6条第1項の規定によりまして、協議会には会長及び副会長を置くことと定められており、委員の互選により決定することとなっております。

選任につきまして、いかが取りはからえればよろしいでしょうか。

A委員

委員全員がお互いに知っている訳ではございませんので、事務局の方で腹案などありましたら教えていただきたいと思います。

地域おこし課 袴田課長

ただいま川津委員から事務局の腹案ということでありましたので、私の方から提案させていただきます。会長には東部地区連絡協議会から渡辺義弘委員、副会長には中央ブロック連絡協議会から菊地長司委員を提案させていただきますのでご審議の方よろしくお願いいいたします。

地域おこし課 高橋参事兼課長補佐

ただいま事務局より、会長には渡辺義弘さま、副会長には菊地長司さまとの提案がありましたけれども皆さまいかがでしょうか。

(異議なしとの声 拍手)

それでは、会長には渡辺義弘委員、副会長には菊地長司委員が選任されました。会長に選任されました渡辺さま、副会長に選任されました菊地さまには前のお席にお進みいただきたいと思います。

(会長・副会長 議長席へ移動)

それでは、会長に選任されました渡辺委員と副会長に選任されました菊地委員よりごあいさつを頂戴したいと存じます。最初に渡辺会長をお願いします。

渡辺会長

この会長という役は非常に大変で、私には全然ふさわしくない役だと思えます。ですが、せっかく選ばれましたので皆さまのご支援をいただきながらこの会を進めて参りたいと思えますので今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

地域おこし課 高橋参事兼課長補佐

次に菊地副会長、お願ひいたします。

菊地副会長

中央地区から推薦されました菊地と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。よく「突然のご指名ですが」といあいさつがございますが、本当に今言われたばかりのこととありますので、これからいろいろ考えなければいけないなと思っているところとあります。中央地区推薦ということで、私が本荘に対してどういった思いがあるかといいますと、生まれたところがちょうど今の市の第2庁舎のところでありまして隣に消防署があつて、公会堂があつて、結構にぎやかな地域であつたと覚えております。駅前の通りももっと狭くてごちゃごちゃして、大町角は魚屋さんとか市場とかたくさんあつてにぎわっていました。今は時代が変わつてこのようなグローバルな感じになつてきましたけれども、ぜひまた昔のようなにぎわいを取り戻したいなと考えております。まだこの協議会についての内容はこれから勉強していかなければならないと思えますが、よろしくお願ひいたします。どうもありがとうございます。

地域おこし課 高橋参事兼課長補佐

ありがとうございました。ここで長谷部市長は、この後の公務のため退席させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

(市長退席)

大変申し訳ございませんが、会場内の準備のため5分ほど休憩をいただきます。

(5分休憩)

地域おこし課 高橋参事兼課長補佐

大変お待たせいたしました。それでは、本日が初めての顔合わせでございますので、委員の皆さまから簡単に自己紹介をお願ひいたします。名簿順でお願ひいたします。

(各委員24名 自己紹介)

職員紹介(企画調整部長、地域おこし課4名)

地域おこし課 高橋参事兼課長補佐

まちづくり協議会について事務局よりご説明いたします。

(地域おこし課 袴田課長 説明)

B委員

年2回協議会を開催するようですが、市の予算要求が11月として、次回の協議会は来年の2月となれば、予算措置が終わっているんですよ。そこで協議会で云々と言われましても、もう決まったことに対してのイエスしかない。そういう面で私はこの年2回というしぼりじゃなくて回数を増やすとか四半期ごととか開催しないと、やるのが予算処置の跳ね返りにとられる感じです。

地域おこし課 袴田課長

あくまでも年2回というのは、市側からのご意見を伺うための要請に基づいて開催する会議でございます。協議会として自主的に政策的なテーマなどを考えながら協議する会議というのは、それにとらわれず随時やっていただきたい。今日の段階では次回いつやるのかというのはこれからのことですが、予算編成前に会を何回か開いて来年度予算に提言していくということは可能であります。年2回というのはあくまでも市側からの開催要請に基づいてということですのでご理解いただきたいと思っております。

B委員

協議会でもう何回か、部会の問題も出ると思いますが、その辺は協議会の中で検討事項ということで、ということですか。

地域おこし課 袴田課長

そうですが、今回はスタートが8月下旬ですので、予算編成までは非常にタイトな期間でございますが、その中でもできる限り開催できるものであればスケジュール的なものを組んでいく、それも含めて議題3で話し合いをしていただきたいと思っております。

渡辺会長（議長）

協議会の目的に自主的・自発的とありますが、年2回の市の要請以外の会合は、私たち自ら決めるという意味でしょうか。テーマがないと会議は開けないと思えますし、テーマをつくって招集することを委員がやるということが自主的という意味でしょうか。

地域おこし課 袴田課長

その通りでありまして、やはりテーマや目的がなければ会議の開催はできない訳ですので、そのテーマづくりなど、議題3でお話しさせていただきますので、その辺のスケジュール的なもの、段取りについては後ほどお話しさせていただきますのでよろしくお願いたします。

地域おこし課 高橋参事兼課長補佐

ここで、議事に入ります前に、由利本荘市まちづくり協議会条例第7条第2項の開催

要件に関する報告をいたします。本日の出席委員の皆さまは、現時点で24名でございます。定数27名の1/2以上でございますので、開催要件を満たしている事をご報告いたします。

それでは議事に入らせていただきます。

条例第7条第1項の規定により会議の議長は、渡辺会長にお願い致します。

渡辺会長（議長）

それでは、次第に従いまして協議に入ります。

最初に、議事の（1）「平成25年度由利本荘市主要プロジェクトの概要について」事務局より説明をお願いします。

（地域おこし課 高橋参事兼課長補佐 説明）

C委員

ご説明いただいた内容として、この協議会の役割としてはそれぞれの計画や予算について、異議を話せる立場にあるのでしょうか。それとももう決まったものについての詳細についての変更等を言う立場にあるのでしょうか。

地域おこし課 袴田課長

予算は議会決定事項でありまして、すでに動いている部分であります。さまざまな事業が行われているということをお委員の皆さまにも知っていただきたいということで、状況報告であります。ただ、今後これに関連してこのあとご意見が出てくるのかなということも含めて、あくまでもこのプロジェクトの概要についてはご報告ということで、あげさせていただきます。

企画調整部 伊藤部長

補足させていただきます。地方自治体の運営の話ですが予算の発案権はひとえに市長の専権事項であります。ですから市長が予算を発案しようとする際に意見を聴く、というような段取りになります。その際に、皆さんの意見をお聴きしたいということがあります。それから、市長が発案した予算案を議会で議決しますと、議決された予算に従って一年間事業執行していく、このような流れになります。今回のプロジェクトはすでに議決されまして事業が走っている予算の内容でありますので、今回は報告という形にさせていただきます。

D委員

今の話しと関係してきますが、地域づくり推進事業の中に「川口踏み切り花壇植栽事業」とありまして、この花壇の花の種類というのは決まっているのでしょうか。それともこの協議会で提案などできるのでしょうか。

地域おこし課 袴田課長

この地域づくり推進事業につきましても、すでに実施団体が補助金の交付決定を受けて実際に活動しております。あくまでもこのまちづくり協議会で関わっていくというものではありません。今後、来年度以降に実行委員会などを組織して何かしらの事業を行うということであれば可能性はありますのでご理解いただきたいと思います。

菊地副会長

主要プロジェクトについてであります。内容がハード面の事業説明ばかりだったようでもありますけれども、協議会の趣旨として地域の活性化に話し合うのであれば、今のプロジェクトよりも「地域にひらかれた住民自治のまちづくり」ですとか、「活力とにぎわいのあるまちづくり」についてのご説明をいただいて、市としてまちの活性化についてどのような取り組みをしているかという説明をさせていただいて、それについて意見を言ったり話し合ったり考えたり、という方が妥当かなと思うのですけれどもいかがでしょうか。

地域おこし課 袴田課長

今回「本荘地域分」としてご説明した事業がほとんどハード事業ということでしたが、「地域にひらかれた住民自治のまちづくり」や「活力とにぎわいのあるまちづくり」の事業については、地域に特定しない全地域共通の政策ということで上げられております。今後、もっと説明を聞きたい事業がございましたら分野をしぼった上で、担当部署から担当者を出席させてご説明させていただくこととなります。

平成25年度地域づくり推進事業について（地域おこし課 小松班長 説明）

渡辺会長（議長）

この事業に関しましては、前身である「地域協議会」で内容協議されたものであります。今回この「まちづくり協議会」に切り替わりまして、今後はどのようになりますでしょうか。ただこういう事業を参考にやってくださいというお知らせでしょうか。

地域おこし課 袴田課長

今回の平成25年度分につきましては、皆さまにご報告ご紹介ということですが、来年度の事業につきましては、前の地域協議会においてもそれが最終決定の場ではないということですが、あくまでも交付要綱に基づいてクリアした団体をこちらの協議会の方にご紹介していきたいと思っております。地域協議会でも最終決定するといったようなものではなかったのですが、ご意見に関しては判断していただいた部分もございました。まちづくり協議会では、ご紹介してご意見は何いたいと思っておりますが、あくまでも交付要綱に基づいた形で市の中で共通審査をしていきたいと考えております。

渡辺会長（議長）

この協議会で由利本荘市の活性化について協議するというよりは、市の方からの情報提供だということ考えてよろしいですか。

地域おこし課 袴田課長

委員の皆さまからも、こういう事業を率先してできるようであれば企画していただきたい、参画していただきたい、バックアップしていただきたいという部分もありますので単純な情報提供というよりは、積極的な情報提供というようにことごとくご意見もお伺いしたいと思います。

B委員

本荘の大名行列やひなまつりなどは観光面も考えて由利高原鉄道などとタイアップして集客を図るといいますか、旅行業者と抱き合わせで観光客の誘致なども考えられたらどうかなと思います。ただ本荘の小さな町の中で考えるのではなくて、大きなとらえ方、県外へ発信するとか。大名行列って全国でやっているところはそんなにないのもったいないと思っています。昨年、中止になりましたがもっと外にPRを兼ねた事業は考えられないのかなと、市として参画できないのかなと。鳥海山という名前が全国に売れないのが寂しい。富士山と同じような形の鳥海山がどうして全国に名前が出ないんだろう、東北で2番目に高い山なのに、むしろそれより小さい蔵王とか八甲田、月山の方が売れまして鳥海山の名前が出てこない。まちづくりの宣伝にお金をかけたらどうかなと思います。

(3) 協議会活動の進め方 (地域おこし課 小松班長 説明)

B委員

私としては案2かなと思いますが、部会は何部会くらいになりますか。当然、部会となれば部会長なり必要となると思いますがそこまで考えておられますか。

地域おこし課 袴田課長

部会の構成や分野、含めて皆さまからご提案いただければと考えていた訳ですが、企画運営部会的なものを組織して、その中でスケジュール等も含めて決めたりということもできるかなと考えております。本日は、部会の名称等をご用意しておりません。今後の会議に向けてどういう形で誰が選定していくかということも含めて、本日方向性だけでも皆さまに決めていただきたいということで提案させていただいたところです。

B委員

プロジェクトの概要を見ますと専門的なことがかなりあります。委員のみなさんはそれぞれ専門分野をお持ちだと思いますので、そういう方を先頭に各分野ごとに4つか5つくらいの部にして、その中で審議してもらって提案してもらうことが進みやすいかと思えます。

渡辺会長 (議長)

今、部会を立ち上げたらどうですかというご意見が出ましたが、ほかにご意見ござい

ませんか。

E 委員

前身の本荘地域協議会でもかなり話し合われた問題だと思います。一番は「まちづくり」というものをどう考えるか。今回「まちづくり協議会条例」ができましたが、まちづくりに関するそもそもの条例である「まちづくり条例」というものが必要ではないかと思っています。由利本荘市全体として旧市町も含めて全体としてどうするか、それが一番の基礎になると思います。具体的には、将来の人口減少問題を踏まえていわゆるコンパクトシティを考えるのか、それとも今までのように各地域をある程度大事にしながら整合性をとったやり方で行くのか。しかしこれは人がどんどん減る中では財政的にもかなり厳しいと思います。そういったことを踏まえて項目ごと、財政面、あるいは教育、観光、商工業、そういう部会を作るにしても由利本荘市全体としてどのように整合性をとるのかというのがないと進まない。地域協議会でもずいぶんと話し合いましたが、由利本荘市全体としてどうするのか。各支所も含めてバランス良く、縦糸だけでなく横糸を通したひとつの「面」として捉えていかないと難しいと思います。抽象的にお話ししましたが、それぞれ専門も得意もあるので委員みなさんから意見を出し合わない、行政に案を求めても無理な話だと思います。私たち自身が作って行かなきゃいかん時代だと思います。

C 委員

一言でまちづくりと言っても、みなさんご覧になってるスコープがそれぞれで違っているだろうと思います。市のことを全体として考えていこうとすることもあるでしょうし、自分の身の回りで生活しやすいようにしていこうとすると、当然施策が変わってくることになる訳ですね。両方とも拾い上げていくということが、まちづくり協議会における役割になるだろうと思います。それはお一方お一方確認することがなかなか難しい。順に意見を述べていただいても難しい。そういう意味ではまちづくり協議会に参加してどんな問題点を取り上げようとしているのか、どういっしょに話し合うといいだろうかということとはそれぞれ違うと思いますので、それを全部集約した上で、グループに分けて分科会を構成するといったやり方が一番スムーズなんじゃないかと思っています。そうすると全体のことを話し合いたいということも当然遡上に上ってくる話しですし、それに賛同いただける方もいらっしゃるかと思います。両方拾い上げる意味では、その方がいいかと思っています。

F 委員

あまり理解できない部分もありますので、少し質問しながらの意見ということになりますけれども、先ほど、地域づくり推進事業の説明を受けましたが、私も町内会長をやっておりますので、これを自分の町内等で何か積極的にやりたいということであれば提案して行けるのですが、私の方の町内では意見が出なかったということで今年度の事業には乗っていません。町内会の協議会ではいろいろ話し合っていますが、今日のまちづくり協議会との関係がよくわかりません。先ほど行政からの説明で、各町内から

の要望などではなくて、10年後20年後を視野に入れた本荘地域としての提案、ということに理解しています。これから人口が減少すると言ってはいますが、例えば10年後どれくらいの人口に推移していくのか、情報提供していただければ、その切り口からまたいろいろな意見やアイデアが出てくるのではと思います。私としては、大きく10年後20年後のテーマを見つけ出すことが一番で、いいテーマがたくさんあった場合に、部会を作っていくという方法が、立派なテーマが発見できるんじゃないかと思います。

渡辺会長（議長）

今回の協議会の役割・活動の中に「自主的にテーマを設けて協議検討する」という項目がありますが、何もテーマがないのにお集まりいただくわけにもいかないですし、全員集まって、そこでテーマを出してくれというのも違う気がします。でも何かありましたら文書で提出というのも難しい。できれば今日のようにお集まりいただいてテーマを絞って、どんな部会にしたらいいかという話しになればいいかと思います。その都度テーマごとに部会を分けてやっていく方法もどうかなと思います。

G委員

地域の課題を事務局へ文書の郵送で報告、というのは全員でなくても思いついた人が出して、それを前もってみなさんに配布していただきたいと思います。次に集まった時にそれに対してみなさんが意見を持って集まれる訳ですから、そうしたらもっと活発に意見が出ると思います。

C委員

「文書」というものすごくハードルが高いように感じますね。普通に付箋紙にメモ書きで10個くらいテーマがあれば、それを箇条書きでも書いていけばいいと思います。こういうことで話し合えればいいかなということは、みなさんそれぞれお持ちだと思うんですね。文章にすると書きづらいと思いますが、身の回りを見ていけば思うことはたくさんあると思いますし、それをメモ書き程度でいただいて、その中には共通項がありますし、その整理をして大きな束に分けていければいいかなと考えています。

H委員

私も、以前地域協議会の委員でしたけれども、分科会に分かれてそれを整合性を持たせるというのは大変な作業だったように思います。資料だけが莫大なもので取り留めもなく進んだように思います。分科会に分かれていろんな意見をまとめるのは大変なので、まずひとつのテーマを投げかけていただいて、観光や教育などその都度テーマを決めていただく。それをこの人数でまとめるというのは大変なので、ひとつのテーマを何ブロックかに分けて話し合っ、それをひとつにまとめていく。というのを次のテーマ、次のテーマというように話し合っっていくというような形でやっていったらどうかなと思います。それと、先ほどお話しもありましたが、10年後20年後の人口の減少の推移についての資料もほしいと思います。

I 委員

10年後20年後を視野に入れた、ということが書かれていますけれども、私としてもこれが役目なのかなと思っています。ただ協議会条例とか施行規則とか役割や活動など、ちょっと難しくて混乱しています。いろんな意見が出ましたが、E委員からは人口の減少化に関するお話がありました。にぎわいの創出であれば一時的にいろんなことができると思いますが、活性化とかいろんなことを真剣に考えてみれば、やはり生産人口を増やしていかないとどうにもならないといつも考えています。若い世代が増えてこない高齢者の面倒をみる人もいない。雇用状況を見ても、今の企業は若者の生活補償などまったく考えていない。そういうところまで考えて行くのか、あるいは、高齢者のまちでもいいですから3万人、4万人それぐらいでもいいですから、まあまあ賑やかにやってみようという程度でいいのか、こう考えてみるとわれわれは絞りきれないテーマを背負っているんじゃないかと今、私自身考えてます。その上で、年2回という協議会の中で行政の提案だとか、そういうことも視野にいれますと、率直に申し上げますが私はそんなに真剣に取り組むものでもないのかなと思います。それだけの責任を持って2回くらいで行政にももの申せるような協議会ではないと思います。それぞれ意見を持っていると思いますが、方向性として協議会とはどうあるべきかということを考えることが、第一のテーマだと思います。

B 委員

10年後20年後を見据え、この協議会を設置という考えはわかるんですが、何がなにかというといわゆる公共交通機関なんですよね。道路とか鉄道がないんでどうしようもない。企業がこないのはそういう理由なんですよね。高速道路がつながってない。鉄道も時間がかかる。そういう交通網の悪さ、秋田県が遅れている。物流がほとんどでみんな岩手からきている。日沿道の本荘インター付近がどうして開発しないのか、首都圏でもインター付近にはいろんな企業がきている。ここでもそうやってほしいなと思っています。高速道路がつながってない。インター付近を工場地帯にしてほしい。そうすると10年後20年後を見据えた企業の誘致、そうすると生産人口が首都圏に行かないという、そういった歯止めにもなると思われる。

地域おこし課 袴田課長

みなさんからいろいろご意見をいただきましたら白熱してきておりますが、すすめ方についてちょっと事務局的にまとめさせていただきます。みなさまが考えている地域の課題なり今後テーマを持って行きたい分野なりを書面で一回出してもらって、それを会長・副会長さんプラスアルファで事務局でまとめて、それから次回の会議の開催とかスケジュールとかを一回段取りさせていただくというのはいかがでしょうか。次回集まった時に、まとめたテーマとかを見ていただきながら部会を設けていただくとか、あるいは同一テーマをみんなグループ分けして話し合ったらどうかということもお話出ましたので、そういうことを次回の会議で議論していただくような形にさせていただくのはどうでしょうか。ご提案です。

渡辺会長（議長）

みなさん、今の事務局の提案についてはいかがでしょうか。

F 委員

お話いただいていることはよく理解できますけれども、みなさんからそれぞれ地域での課題や問題点のお話が出ましたけれども、「地域」といいますと私は石沢の人間ですから石沢の地域のことをいろいろ考える訳です。地域の町内会長を通して要望していただければ、市に上がって地域づくり推進事業に取り上げてもらって、など流れが別にあるんですよね。そうするとまちづくり協議会に上げる課題については町内とか地域のことじゃなくて、10年後20年後にこだわるのは、高速道路のところに商業団地を作るとかいうことは大賛成ですけれども、雇用だとかいう場合には何が足りないのか、というような大きなテーマを考えてみて考えてみてくださいというのであれば、考えてみます。自宅に帰って考えてみてくださいということであれば、小さい問題から大きい問題まで1,000も出てくるんじゃないですか。そう思いましたもう一度確認です。どの程度の問題を提案するのかということです。

地域おこし課 袴田課長

町内会等の要望については、今言われたとおりルートがあります。ですからこの本荘まちづくり協議会では、ひとつは「本荘地域」のこと、それからそれをもって市全体に波及したり影響を与えたり及んでいくものも含めた形でテーマを決めていってもいいと思っております。今後提案していただくものに関しては、そういう観点から考えていただいたテーマや分野のことを出していきたいと思っております。町内会などからというよりはむしろ、本荘地域全体に関わる部分についてのテーマであればいいのではと思います。

J 委員

私も地域づくり推進事業で関わりました。先ほど、お話がありました町内会長会から市の方へ要望ということにも関わりました。私としましては10年後20年後を視野に入れたまちづくりということで、継続していけるような事業をみんなで考えたかどうかと思います。私は伝統文化を大切にしたいまちづくりということで自分ではテーマを決めていますけれども、そういったひとつのことをみんなで歴史を調べたり、それを未来の子どもたちにつながるような継続的な事業をやれたらいいなと思っております。

地域おこし課 袴田課長

先ほどF委員からお話のあった地域づくり推進事業についてであります、とくに本荘地域におきましては、本荘地域に特化したものもございます。またブロックに特化したものもございます。ところが、市全域を視野に入れた事業もございます。ほかの地域と大きく違う点は、予算の配分もほかは300万円、本荘だけが500万円という枠がありまして、大きな事業が多い訳であります、ほかの地域と連携している事業もあり

ますので、テーマに関しましても各地域にこだわった部分でなくて広く捉えていただければいいのかなと思います。次回に向けてみなさまからテーマや分野に関するアンケートのようなものを一回いただいて、「企画運営部会」的な部会を会長さん副会長さん含めて6名程度の部会を作らせていただいて、その中でアンケートを調整させていただいて次回の会議に臨みたいという段取りではいかがでしょうか。

K委員

アンケートでは、本荘地域の課題、市全体を捉えた課題、それぞれ分けて箇条書きで記載して、その後は全体討議になるか部会に分けてやるか、そのところは企画運営部会でも事業企画部会でもいいですからその中で協議して方向付けをしていくというような方向がいいだろうと私は思います。長くやっても時間がかかりますからぜひそのように進めてもらいたいと思います。

もうひとつは、このまちづくり協議会というのは議会の議員でもないのに、市議会議員と協議会委員とは役割分担を整理をして考えていった方がいいと思いますから、付け加えてお願いします。

A委員

賛成です。

地域おこし課 袴田課長

みなさんからいただいたものを整理するために、「企画運営部会」というものを作らせていただきたいと思います。メンバーについては、会長さん副会長さんには当然入っていただいて、そのほか4名くらいと考えておりますが、ぜひという方は挙手をお願いします。

(竹内 武委員 挙手)

はい、竹内委員お願いします。ほかにいらっしゃらないようであれば、こちらから数名お願いしてもよろしいでしょうか。

北内越地区の川津利幸さん、社会福祉協議会本荘支所の工藤久美子さん、由利本荘青年会議所の佐々木亮さん、秋田県立大学の嶋崎真仁先生、以上の方々お引き受けいただけますでしょうか。

(了承)

では、全部で7名のみなさま、よろしく願いいたします。これからみなさまからいただいたアンケートをまとめて、次回の会議のスケジュール等も含めてこの企画運営部会におまかせいただきたいと思います。

尚、企画運営部会につきましては別途ご連絡を差し上げたいと思いますのでよろしくお願い致します。

渡辺会長（議長）

今日の結論としまして、次回この協議会を開催するまでの間に、みなさまからご意見とかご提案とか寄せていただいて、次回の会議に臨みたいと思います。今後の協議会のすすめ方については次回に持ち越したいと思います。その他として何かございませんか。ないようであれば本日の議事はこれで終了したいと思います。長時間にわたりまして大変ありがとうございました。

（地域おこし課より「秋田元気ムラ事」PRチラシ配布）

地域おこし課 高橋参事兼課長補佐

本日は長時間にわたりありがとうございました。これにて終了いたします、お疲れ様でした。